

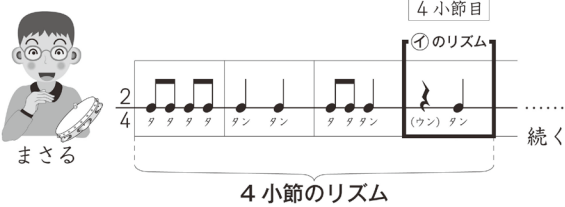
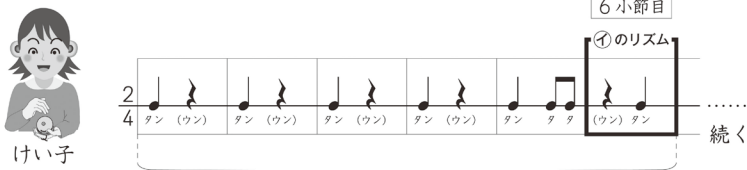
さらにもう一つ!

# 確かな学びと望ましい生活リズムを!!

## 全国学力調査問題に挑戦してみよう

●次の問題は、音楽の時間に、打楽器でリズムの練習をしている場面を想定している問題です。

けい子さんも加わって、まさるさんと演奏することになります。  
 けい子さんは、カスタネットを下の6小節のリズムを何回かくり返します。  
 けい子さんの6小節目とまさるさんの4小節目は、同じリズムです。  
 これを、㊦のリズムとします。



けい子さんとまさるさんは、同時に演奏を始めました。  
 すると、12小節目に2人の㊦のリズムが重なりました。  
 2人の㊦のリズムが重なる12小節目の「12」は、どのような数ですか。  
 言葉と「4」と「6」の数を使って書きましょう。

【解答例】12は、4と6の最小公倍数になっている。  
 (出典：平成26年度 全国学力・学習状況調査 小学校第5学年算数B問題)

平均正答率 岡山県57.1%(全国60.5%)

学校で学習していることを、生活の様々な場面で活用できる力が求められています。



## 日常生活を振り返ってみよう

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲーム除く)



テレビなどを見る時間だけでなく、1日当たりの「ゲームをする時間」「インターネットをする時間」も、全国平均より長くなっています。

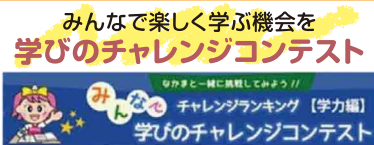
(出典：平成26年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査)

テレビやDVD、ゲームやスマートフォンなどの「メディアとのつきあい方」について、今一度、家族で話し合ってルールを確認しましょう!!



岡山県「ぼっちリモグモグ」生活リズム向上マスコットキャラクター

### 確かな学びを支えます



様々な課題に個人やグループ、クラスで挑戦し、考える楽しさや解けた喜びを味わうことで、児童自ら進んで学ぼうとする意欲やチャレンジ精神を育むために、平成25年度から実施しています。  
 取り組んだ学校やクラス名など、教育庁義務教育課ホームページに掲載しています。ぜひ御覧ください。

### 学力定着状況たしかめテストを11月下旬に実施します

公立の小学校4・5年生、中学校2年生の全児童生徒の学習内容の定着状況を把握するために実施します。  
 このテストを、児童生徒一人一人の学習状況の改善に生かします。  
 <実施する教科>  
 小4 国語A、算数A、  
 小5 国語A、国語B、算数A、算数B、理科  
 中2 国語A、国語B、数学A、数学B、理科  
 <出題内容など>  
 学校で習った、基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・表現力・判断力に関わる内容を出題します。

これだけは!

## 家庭での時間の過ごし方を一度見直そう。

### より良い「家庭学習」のために

- ◇ **始める時間**を決める。  
「取り組む時間」だけでなく、始める時間も決めることで自ら学ぶ習慣や生活にけじめをつけることにつながります。
- ◇ **継続**して取り組む。  
小さい目標を設定し、一つ一つやり遂げた成功体験を積み重ねましょう。「がんばったね」の一言も励みになります。
- ◇ **学習環境**を整える。  
集中できる落ち着いた環境づくりに協力してください。

### より良い「生活習慣」のために

(ゲームやスマートフォン等に関するルールづくりのポイント)

- ◇ **使用する場所**を決める。  
リビングなど、家族のいる場所で使う など
  - ◇ **使用する時間**を決める。  
夜9時以降は使わない など
  - ◇ **使用する仕方**を決める。  
相手のことを考えて使う など
- ※県教育委員会でも、スマートフォン等の使い方のルールづくりに向けて、各関係機関と話し合いを進めています。

## わが家では、こうしています。

小4と小2の我が子が通う小学校から、家庭学習の案内が届き、「学年+1に10分をかけた時間が目安です。」とありました。20時から1時間、家族みんなでリビングに集まり、子どもたちは勉強、私は読書や子どもの宿題の確認などをする時間にしています。これからも応援していきたいと思っています。

子どもとしっかり話し合っ、「勉強する時と21時以降はスマートフォンを預かる」という約束をしました。話し合いには時間がかかりましたが、本人が納得しない約束では意味がないと思います。また、「親が取り上げるから」という理由だと、友達からのメッセージの返信ができない理由になり、安心して手放せるようです。